



### 知事の胸奥を信じ 熱狂裡に叫ぶ萬歳の聲

愛町の志を以て埋る平驛頭

大瀧發電所許可取消問題は過般知事官邸に於て水利權確得者である小田吉次氏外平企業會社栗原氏が知事の前に權利を放棄し取消を明瞭したるに拘らず其後平企業社では株主協議會を開き言を譲がへし取消を背せず又復問題再燃の形勢で十日午前二時四十八分の急行を以て發電所許可反對同盟會より

副會長大森勇、鈴木長三郎、馬目武之助、緑川喜三郎、中島孟、山崎喜正、阿部政右衛門、齋藤寅吉、諸氏及び川崎本社長出縣親く知事に面接縣は最初の言明通り此問題を解決して貰たいと陳情知事の胸奥を信じて微塵も不安は無く同日午後七時五十分歸平するや驛頭には出迎いた町會議員其他各區の有志青年團員に依て人の山を築き眞に舉町一致の勢實に涙ぐましい光景であつた尙大森副會長より知事の胸奥を一同に報告あり出迎人熱狂裡に口々に叫ぶ萬歳の聲は物凄じ迄に響き互つた

### 社告

川崎本社長は今日會津若松方面旅行不在の爲め本日御覽の如く不體裁の紙面で申譯ありません

### 各濱を通じて 本縣の鯉漁

漁額十八萬圓

本縣の鯉漁は依然沖合百漕内外に好況であるが請戸の漁船が五十漕の近海に於て千八百尾を漁獲せるが如き漁場漸く接近の模様ありまた江名漁船の一船が同地東微南百漕で鯉の大群に出會し四千尾の大漁せるを初め縣内各濱を通じて相當の水揚高を見るものあるは愈よ盛期を迎ひるもの、如く去る七日までの小名濱町本縣水試場に着いた漁速報の集計だけで初漁以來十七萬八千六百五十五圓に達した由

### 海水浴客の 便利を圖るため

臨時列車運轉

平驛では海水浴客の便利を圖るため二十日の土用入り當日から八月末日まで平、久の濱間三回の臨時列車を

### 世界の マザマザ

◇米國のウットハウスと云ふ男はスケートで二百里駛つた其時間は四十四時間かつたそのうだ◇世界で一の深い處は比律賓沖で三萬二千八百八呎(約二里半)と驚きました◇人間の皮膚には一平方インチ三千五百の汗でる孔がある◇青森函館間聯絡船セウ鳳丸は貨車廿臺ボーギ二臺を乗せて處女航海を五月二十日實行した◇ロシアでは新法會で労働者か農夫の子で無ければ大學へ入學を許さないことになつた◇日本では一時間に死ぬ人

### 石城體育研究會 警中に於て

石城郡體育研究會第一回夏期講習會は八月二十日より

### 養蠶同業認可

石城郡養蠶同業組合は過般創立總會と同時に左記役員を選舉し知事宛認可申請中であつたが去七日附認可さ

### 海水浴客の注意書

弗々活氣づいた爲め

石城郡地方の避暑地小名濱四倉等では九十度以上の昨今の酷暑に海水浴客がそろそろ入り込み活氣づいて来た爲め平警察署では夏期海水浴客の注意書を左の如く一般に公布する

### カンバツ

一滴の水もない

石城地方は打續く炎天の爲め灌漑用水をからされて昨今雨乞ひ祈禱をなす部落が續出して来た殊に海岸の豊間村附近は我田引水で争ふ一滴に流れず田面悉く龜裂を生じ當業は一家總出を以て汲水に努め泉村及び湯本町等も湧水に苦しんで居るが此四五日中に降雨がなければ稲草は全部枯死を免れぬと慘憺たる状態である

### 少年野球大會

申込數

縣下第一回少年野球大會は十二三の兩日福島縣體育協會主催マール運動具店福島三新聞社後援で師御校グラウンドに於いて開催するが十

### 母戀しさ

少年青森へ

一週間警城中學校に於て開催するが講師は佐川永二、小野寛美、小野丘、佐藤寅四郎、永島磯惣太の五氏である

### 募集

文藝其他一般投稿を募集します

を青壁に連れ保護を加へてゐるが心當りの人は知らして貰いたい由

### 平光影會

平陽校にて

明十二日午後一時より十三日夜迄平陽女學校樓上にて第十三回寫眞展覽會開催審査員は中島雅園、白土喜伯、鈴木山諸氏

二日は松方公の國葬日に相當するので十三日午前七時から十四日は午後一時から二日間に亘つて豫決戦を行ふ事に變更したが本日本での申込チームは左の如し

▽男師附屬校二組△女師附屬校△福島第一校二組△同第四校二組△同第五校△信夫野田校二組△夫清水校△信夫松川校△石川小高校△西白河中城內郷校△伊達保原校△沼河坂下校

### 多産長命說

米國レツドフ

サンガーの向ふを張るイールド博士發表サンガー夫人は女性が貧窮にして且つ多産である場合嬰兒は勿論のことその母體の健康上産兒制限を有利なりと唱へたが最近米國のレツドフイールド博士は統計上から子供を澤山生んだ婦人は一帯に長命である之は自然が女性を保護する故であるからと主張し始めたその理由は人が働けば働く程身體が發達すると同じ様に正當に與へられた能力で適度に仕事を續ければ精力は消耗さるゝか却つて發達し秩序的仕事から早く隱退する人は早く衰へるものであるといふのである又博士の統計に依ると兩親が若くして生んだ子よりも年をとつてから出来た子の方が長命で餘り多産婦は自分のみでなくその子まで長命を保つといふのである